



ACE HPLCカラムの各種フェーズの特徴、及び適したアプリケーションガイド

HPLCを用いた分析方法（メソッド開発）は、先ずC18或いは、C8を用いて開始することをお勧めします。

多くの化合物の溶出順序は、脂肪族（C18,C8,C4）相でも同じです。

化合物の検証やマトリックス成分の分離に異なる溶出順序が必要な場合は、移動相や温度の変化による選択性を変えるよりも、フェニル或いはCN相への変更の方がはるかに簡単です。

多くの場合、ACE CN及び、Phenyl相は脂肪族相とは選択性に大きな違いがあります。

Phase	Description	Application
C18	最高の効率、優れたピーク形状、分離能の為に最適化されています。 すべてのACE相と同じ超高純度シリカを使用しています。	ほとんどのHPLCアプリケーション用として使用されるC18相。 LC/MSやマイクロボアアプリケーションから分取スケール分離まで、様々な粒径で利用出来ます。
C8	C18と比較して結合密度が増加しています。 最大効率、優れたピーク形状、分離能の為に最適化されています。	メソッド開発の出発点として推奨します。 水リッチな条件や高速分析アプリケーションに適しています。
C4	低い疎水性と優れたクロマトグラム性能を兼ね備えています。 ACE C4は従来のC4相と比較して改善された加水分解安定性を有しています。	C8または、C18よりも短いリテンションが必要な場合に、迅速な分析の最適化に使用します。 低分子のタンパク質分析に適しています。
CN	順相モードと逆相モードの両方での使用に適しています。 従来のCN相と比較して、性能、安定性、再現性が大幅に向上しました。	極性化合物の保持力を高めるために使用します。迅速な平衡化能力により、 グラジエントおよび迅速なスクリーニング用途に最適です。
Ph	極性選択性を高めた、C4とC8相の間の疎水性。 従来のフェニル相に比べて性能、安定性、再現性が向上	芳香族、アミンまたは極性化合物に対する代替選択性を提供します。
AQ	一体型極性官能基を持つユニークなC18結合相です。 100%水性移動相を使用してもダメージを受けにくい特徴があります。	100%水性移動相が必要な用途にお勧めします。 急速な再平衡化特性により、速いグラジエントに最適です。
C18-HL	高表面積、高炭素負荷相。ACE C18と比較して保持力と負荷が増加します。 保持特性が高いため、LC/MSに適しています。u	最大15umの粒径が利用可能なため、分取及びプロセス規模のアプリケーションに容易に スケールアップできます。
300A	100Åカラムと同じ超不活性、超高純度シリカが、ワイドポア300Åフォーマットにて入手可能です。 様々な結合相と粒径があります。	タンパク質、ペプチド、その他の生体高分子の分析に適しています。 超高純度300Åシリカは、特に非常に低いTFA濃度において改善されたピーク形状を提供し、 感度UPIにつながります。